

令和元年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

文化芸術課

1 施設の概要等

施設名	広島県民文化センター		
所在地	広島市中区大手町1丁目5-3		
設置目的	県民の文化の振興に資する。		
施設・設備	ホール（530席）、展示室（3室）、練習室（3室）、楽屋（4室）、駐車場（36台）		
指定管理者	6期目	H30.4.1～R5.3.31	RCC文化センター・イズミテクノホールマネジメントグループ 共同事業体
	5期目	H25.4.1～H30.3.31	RCC文化センター・イズミテクノホールマネジメントグループ 共同事業体
	4期目	H24.4.1～H25.3.31	(財) 県民センター
	3期目	H23.4.1～H24.3.31	(財) 県民センター
	2期目	H20.4.1～H23.3.31	(財) 県民センター
	1期目	H17.4.1～H20.3.31	(財) 県民センター

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]		利用率	対前年度 増減	対目標値増減 (達成率)	
	※1	6期	R1	ホール	78.7%	78.5%	△0.3%	△0.2%
展示室				58.4%	51.6%	△4.1%	△6.8%	(88.4%)
練習室				83.5%	75.7%	△6.8%	△7.8%	(90.7%)
H30		ホール	78.6%	78.8%	6.8%	0.2%	(100.3%)	
		展示室	57.8% ※2	55.7%	9.5% ※3	△2.1%	(96.4%)	
		練習室	82.5% ※2	82.5%	2.2% ※3	0.0%	(100.0%)	
5期平均 H25～H29		69.2%		72.9%	0.7%	3.7%	(105.5%)	
4期		H24	75.0%		68.3%	4.1%	△6.7%	(91.1%)
3期		H23	74.0%		64.2%	△3.7%	△9.8%	(86.8%)
2期平均 H20～H22		75.1%		67.9%	△4.2%	△7.2%	(90.4%)	
1期平均 H17～H19		72.0%		72.1%	0.7%	0.1%	(100.1%)	
(導入前) H16		—		71.4%	—	—	—	
増減理由	ホールの利用については、2月までは目標を上回っていたが、3月以降は新型コロナウイルス感染症の影響によるキャンセルが相次ぎ、最終的な稼働率は目標未達となった。展示室・練習室においても新型コロナウイルスによる影響の他、H30年度から導入した、周辺企業を対象とした会議室パックの周知に課題が残った。							

※1 5期まではホール利用率のみを施設の目標値として設定。6期（平成30年度）からはホールの他、展示室・練習室利用率について目標値として設定。※2 目標値はH28年度時の各施設の利用率実績（展示室57.2%、練習室81.5%）に対し、展示室は毎年0.6%、練習室は1%を加算したものを設定。※3 H29年度の展示室の利用率46.2%、練習室80.3%。

3 利用者ニーズの把握と対応

実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	利用者アンケート（受付にて用紙を配布・回収）	利用者（主催者）
	【主な意見】	【その対応状況】
	キャッシュレス決済やインターネットを利用した予約システムを導入して欲しい。	R2年度より自主事業のキャッシュレス決済を導入することとした。 インターネット予約システムについては、導入に向け検討する。

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務報告書
	日報	—	
管理運営会議（随時・現地）	【特記事項等】 ・利用率の伸びしろがある、展示室における利用率向上策の検討。 【指定管理者の意見】 ・文化活動以外の新たな利用方法を県民に周知することを目的に、まずは自主事業として防災パル展等を実施した。今後、民間企業や各種団体へのPRを実施し利用増加に繋げる。		
現地調査（随時）	【県の対応】 ・防災パル等、必要部材の貸出について県の関係各部署に働きかけ、指定管理者の取り組みを支援した。		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	6期	R1	70,200	400		6期	R1	78,270	471
県委託料 (決算額)		H30	69,800	671	料金 収入 (決算額)		H30	77,799	4,528
	5期平均	H25～H29	69,129	329		5期平均	H25～H29	73,271	△1,815
	4期	H24	68,800	△1,000		4期	H24	75,086	△3,818
	3期	H23	69,800	△2,708		3期	H23	78,904	468
	2期平均	H20～H22	72,508	△1,254		2期平均	H20～H22	78,436	△3,086
	1期平均	H17～H19	73,762	△7,964		1期平均	H17～H19	81,522	4,437
	(導入前)	H16	81,726	—		(導入前)	H16	77,085	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R1 決算額	H30 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	70,200	69,800	400	10月より消費税率変更(8%→10%)
		料金収入(※1)	78,270	77,799	471	
		その他収入	18	33	△15	
		計(A)	148,488	147,632	856	
	支出	人件費	26,815	26,569	246	
		光熱水費	22,676	23,700	△1,024	レストランの新規開業に伴い、光熱費の負担割合が変更となったため
		設備等保守点検費 清掃・警備費等	67,338	65,956	1,382	管理ソフト改修に伴う経費増
		施設維持修繕費	6,549	6,540	9	
		事務局費	9,945	9,860	85	
		その他	3,203	3,218	△15	
計(B)		136,526	135,843	683		
収支①(A-B)		11,962	11,789	173		
自主事業 (※2)	収入(C)	24,571	21,254	3,317	神楽公演チケット代の値上げ効果	
	支出(D)	34,705	28,833	5,872	新規自主事業開催による経費増	
	収支②(C-D)	△10,134	△7,579	△2,555		
合計収支(①+②)		1,828	4,210	△2,382		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。
指定管理者の自主的な経営努力を發揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の設置目的に沿った業務実績 ○業務の実施による, 県民サービスの向上 ○業務の実施による, 施設の利用促進 ○施設の維持管理 	<p>神楽写真コンテストを開催し, 当施設を基点に, 県内における伝統文化の振興が県全体に波及するよう努めた。</p> <p>利用者の利便性向上を目的に, 自主事業に係る料金の支払いについて, 令和2年度からのキャッシュレス決裁導入に向けて準備を進めた。</p>	<p>幅広い層に向けた新たな取り組みを実施し, 県内における神楽の振興に貢献した。</p> <p>利用者のニーズを汲み取り, サービスの向上に努めるとともに, 利用増加に向けた取り組みを行った。</p>
管理の人的物的基礎	<ul style="list-style-type: none"> ○組織体制の見直し ○効率的な業務運営 ○収支の適正 	<p>勤務実績や能力に応じ, 契約社員を正社員に登用するなど, 円滑な職員配置を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け, 利用が大幅に減少したが, 運営努力により年間収支の黒字化を達成した。</p>	<p>効率的かつ円滑な人員配置を実施し, 利用者サービスの向上や業務効率の向上に努めた。</p>
総括		<p>2月以降, 新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの, 収益の向上と経費削減に努め, 1,828千円の黒字となった。</p>	<p>施設を十分に活用し, 県民が幅広い文化活動を行う場を提供し, 文化振興に資する事ができた。</p> <p>練習室や展示室の安定的な利用確保を目的に, 指定管理者と協力して取り組む。</p>

8 今後の方向性 (課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和2年度)	<p>会議室パック等, 自主事業の定着に課題が残っている。今後の重要項目として取り組む。</p>	<p>施設の利用状況について指定管理者と情報を共有し, 安定的な利用確保に向け協力して取り組む。</p>
中期的な対応	<p>文化活動での利用を増加させると共に, 紙屋町地区中心部という施設の利便性を生かし, 近隣企業に向けた活用策を打ち出す等, 施設の有効利用に努める。</p>	<p>県所有の類似施設における優良事例を提供し, 指定管理者と共に新たな利用者の掘り起こしに努める。</p>